

左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト

左京区では、区内各地域において継承されてきた伝統行事、郷土料理等、地域ゆかりの文化を50年後、100年後まで継承していけるよう、その魅力の発信に取り組んでいます。

いいところ行ってみよう

京都

岩倉

期間

令和3年11月

～令和4年2月



いわくらくん

- 岩倉いいところマップ
- 岩倉の仏教文化
- 岩倉の神社と伝統行事
- 岩倉というところ
- 岩倉具視と岩倉
- 岩倉史話・舞踊
- イベント案内

左京区役所HP内
特設サイト ▶▶▶



主催 京の暮らしの文化普及啓発実行委員会
左京・地域ゆかりの文化実行委員会(事務局:京都市左京区役所地域力推進室企画担当)

協力 京都市歴史資料館, 岩倉具視幽棲旧宅(指定管理:植彌加藤造園株式会社),
(順不同) 叡山電鉄株式会社, 京都バス株式会社, 京都精華大学, NPO法人京都洛北・森と水の会,
公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団, 岩倉史話・舞踊保存会, 医療法人三幸会,
木野かわらけ保存会

岩倉の仏教文化

岩倉は、静養地として古くから注目されてきた土地で、紫式部が幼少の頃に訪れたという曾祖父藤原文範の山荘は、現在の大雲寺付近にあったとされる。この大雲寺は天禄2年(971)の創建と伝えられ、天台宗が山門・寺門に分かれて抗争した際、比叡山を下りた寺門派の円珍の一派が拠点を置き、大いに栄えたという。大雲寺が荒廃した中世、やはり寺門派の実相院が洛中から大雲寺の塔頭跡に移転し、江戸時代に入ると、天皇家の子弟が相次いで入室され、実相院

門跡は名刹となった。本山修験宗の住心院(岩倉村松町)も、元は寺門派の寺院であった。

比叡山の借景で有名な臨済宗妙心寺派の圓通寺(岩倉幡枝町)には、離宮時代に築庭されたという枯山水庭園が伝わる。昭和になって岩倉に移転した顕本法華宗の妙満寺(岩倉幡枝町)のツツジの庭など、風光明媚な寺院も多い。

(文 福持昌之 京都市文化市民局文化財保護課文化財保護技師、左京・地域ゆかりの文化実行委員会委員)

妙満寺 「道成寺」ゆかりの釣鐘を所蔵

康応元年(1389)、日什上人によって創建された顕本法華宗の総本山。昭和42年、寺町二条から現在地へ移った。能や歌舞伎で知られる「道成寺」ゆかりの「安珍清姫の鐘」を所蔵するほか、俳諧の祖・松永貞徳造営の「雪の庭」や仏舍利塔など、見どころ多彩である。



圓通寺 造営時そのままの景色が残る庭

元は後水尾上皇が幡枝離宮として造営。延宝6年(1678)に臨済宗の寺院となった。周囲にサザンカなど50種類の混ぜ垣をめぐらした枯山水庭園は、比叡山を借景とした美しさで有名。また、本尊の聖観世菩薩は定朝の作であると伝えられている。



床もみじは撮影禁止

実相院門跡 赤や緑に美しく映える床もみじ

寛喜元年(1229)に静基僧正が開創した、元は天台宗寺門派の門跡寺院。本堂・四脚門・お車寄せは、東山天皇中宮承秋門院の旧殿の一部を下賜されたもの。狩野派の襖絵や、磨き込まれた木床に新緑・紅葉・雪などの色が美しく映える「床もみじ」で有名である。

NPO法人 京都洛北・森と水の会

洛北の地では、古来、人が自然を畏れ敬い、謙虚に向かい合ってきました。自然と人との交流の中から生まれてきた祈りや信仰の歴史を伝えていくため、平成23年に発足。現在、洛北地域30社寺が加盟している。

便利でお得に巡ろう!

京都洛北・
森と水のきっぷ

発売額：1日版1500円 2日版2000円(大人のみ 社寺拝観料等は含まれていません。)

ご利用区間：叡山電車全線、京都バス洛北エリア区間が指定日乗り降り自由

発売場所：叡山電車出町柳駅、修学院駅、鞍馬駅(9:40~16:30)

京都バス高野営業所(9:00~18:00)、京都バス大原案内所(10:00~12:00、13:00~17:00)、洛北地域主要ホテル他

お問い合わせ 京都バス本社 TEL: 075-871-7521(土・日・祝日を除く8:45~17:45) URL: <https://www.kyotobus.jp/>
京都バス高野営業所 TEL: 075-791-2181(9:00~18:00)
叡山電車 TEL: 075-702-8111(土・日・祝日を除く9:00~17:00) URL: <https://eizandensha.co.jp/>

岩倉の神社と伝統行事

岩倉の名は、古代の磐座信仰によるものである。山住神社（岩倉西河原町）の巨大な自然石がその磐座であるが、大雲寺守護のために大雲寺東側に勧請された神社が今は石座神社（岩倉上蔵町）と呼ばれ、山住神社はその御旅所となっている。岩倉にはこのほか、神明社（岩倉花園町）、八幡社（岩倉長谷町）、愛宕神社（岩倉木野町）、八幡宮社（岩倉幡枝町）、梅ノ宮社（岩倉中町）が鎮座する。

岩倉火祭（京都市登録無形民俗文化財）として知られる

石座神社例大祭、そして幡枝八幡宮例祭には、神輿が行く道を剣鉾が先行して清め祓う。木野愛宕神社の烏帽子着（京都市登録無形民俗文化財）は木野地区の成人儀礼として格式ある儀式が行われる。梅ノ宮神社では奉納相撲が行われるなど、岩倉地域には多様な祭礼行事が今に伝えられている。

（文 福持昌之 京都市文化市民局文化財保護課文化財保護技師、左京・地域ゆかりの文化実行委員会委員）

いわくら

石座神社 左京区岩倉上蔵町302

旧岩倉村の産土神として信仰され、この地の由来となる磐座を御神体として崇める古神道の形が残っている。創建は不明だが、9世紀にはすでに鎮座していたとされる。もとは石座神社の御旅所である山住神社にあったが、天禄2年（971）に行われた大雲寺の造営に伴い、石座神社がその鎮守社として勧請された。

毎年10月23日に近い土曜日に火祭りのひとつである石座神社例大祭（京都市登録無形民俗文化財「岩倉火祭」）が、氏子6町で執り行われ、石座大明神が大蛇を退治したという故事に因み、雌雄の大蛇に見立てた2本の大松明に火が点され、燃え尽きる早朝に神社から大神輿が厳かに各町を回る。



はたえだ

幡枝八幡宮 左京区岩倉幡枝町1118

応神天皇、神功皇后を祀る。寛平6年（894）の創祀で旧幡枝村の産土神。男山より石清水八幡宮から勧請した。鎮座地の南麓には「石清水」と呼ばれる清泉が湧き出で、桃山時代の刀鍛冶、堀川国広が石清水の水を用いて名刀を鍛えたと伝えられている。皇室とのつながりも深い。

毎年10月23日に近い日曜日に行われる例祭では、大蔵流・茂山家による狂言の奉納や、大人の神輿と子ども神輿が氏子地域を巡行し、地域の祭りとして親しまれている。



ながたに

長谷八幡宮 左京区岩倉長谷町1117

惟喬親王の請願により、八幡大神、惟仁親王を勧請し天安元年（857）に鎮座された古社。御所から良の方向にあたることから、国家鎮護の神として伝えられてきた。

岩倉四ヶ村一円にわたる広大な地域の産土神として崇敬されてきた。

毎年4月29日の湯立祭では神前で大釜で湯を沸かし巫女が笹の葉で熱湯を自分と参拝人に振りかける湯立神楽が行われ、五穀豊穡を占う。



きのあたご

木野愛宕神社 左京区岩倉木野町

木野は、京都の嵯峨天龍寺近くに住み、朝廷や幕府に土器を納めていた土器師一族が、原材料の粘土を求めて1600年頃に嵯峨から幡枝町福枝を経て移り住んだ所である。

移住した一族が嵯峨野々宮神社から勧請したものと伝えられており、境内には愛宕本社、奥社、野々宮、皇大神宮、稲荷社、八幡社の6つの祭神が祀られている。

毎年10月23日には、下鴨神社の神官や茂山社中の狂言師による祝詞や奉納舞が披露される。神事の後に、数え年16歳になった少年が大人の仲間入りをするための元服式である袴着（京都市登録無形民俗文化財「木野愛宕神社の烏帽子着」）が行われる。



岩倉というところ ～里子預かりと精神医療～

京都盆地北東隅にある岩倉は、松ヶ崎丘陵で京都から切り離され、京都とは異なる雰囲気を感じられるところです。足利義政が岩倉長谷の山荘に住み、後水尾上皇が、修学院離宮造宮前に幡枝御殿、岩倉御殿、長谷山荘を設けたのには、そのことも関係しているのでしょう。

京都から切り離されていることは、岩倉の暮らしにも影響を与えています。狐坂を越えなければならないので、京都の尿尿を運んでくるのも、野菜を京都へ売りに行くのも難しく、野菜が主産物にならなかったのです。岩倉の主産物は米と薪ですが、それは重く、しかも高く売れません。京都から里子や患者が来てくれると、米や薪が、京都へ運ばずとも商品になり、ありがたかったのです。おまけに養育料、介護料ももらえます。岩倉が里子や患者預かりの地として有名になったのには、岩倉の多くが江戸時代に禁裏御料、法皇御料、公家領であったことも関係しているのでしょう。



東久邇宮稔彦王と里親

里子に関しては、公家の子が1805年来ており、1828年生まれの岩倉具視、1887年生まれの朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王、多くの公家の子、宗教教団の長の子などが育ちました。

患者に関しては、1764年の京都の『町触』に室町の人「乱心」したので大雲寺に参籠したと記され、患者を宿泊させる宿屋が18世紀末から幾つもできました。そして岩倉は、介抱人に付き添ってもらって患者が普通の暮らしをするところとして18世紀末から有名になったのです。

明治時代初めに都が東京へ移った時、身内の患者を岩倉に預けて東京へ行った人たちがいたようです。京都府が1875年に岩倉における患者預かりを禁止し、南禅寺大方便を用いて日本で最初の公立癲狂院^{てんきょういん}を設立したのは、そのような患者を収容するためだったのでしょう。しかしそれは1882年に閉鎖され、患者がまた岩倉に戻りました。その患者の受け入れのために京都府が岩倉の人に設立させたのが岩倉癲狂院（1884年）です。それは後に岩倉病院と改

称し、1920年には京都府の代用精神病院に指定され、患者がアメリカ、中国、朝鮮からも来る病院に発展しました。他方、岩倉の宿屋は、大正時代末に保養所と改称し、散歩や体操をして患者に暮らしてもらおうところとして世界的に有名になったのです。

しかし岩倉病院は1945年に陸軍によって接收され、閉院。1950年には精神衛生法が施行され、保養所は医療なしに患者を受け入れられなくなりました。そこで体制を整え、岡山保養所が1952年に（新）岩倉病院、1954年に城守保養所が北山病院となり、患者の受け入れを再開。日本の他の精神科病院と同様に患者を増やしていきました。ところが1970年頃に（新）岩倉病院の若手医師たちが開放医療を急激に進めると、患者による住居無断侵入などが多発。病院と地域の間で問題が起こったのです。

その問題の根は、京都府の代用精神病院に指定された病院が、昭和初期以降、規模拡大のために京都中央卸売市場等で安い米、石炭を買い、岩倉の米、薪を使わなくなったこと、病院の下水で汚れた岩倉川の水を使わざるをえない岩倉の米が等級を落とされたこと、岩倉が風評被害を受けようになったこと等にあると思われます。

しかし近年は、病院と地域の間で大きな問題は起こっていません。下水道の整備、高齢化に伴う認知症患者の増加、家族だけで認知症患者や障害者を介護できないこと、病院がそのような人を受け入れる施設を増やしたこと、そのような施設で働く人が地元から多く出てきたこと、それが老いや障害に対する理解を深めたこと等が、病院と地域の比較的良好な関係の理由かと思われます。病院と地域が新たな互惠関係に入ったのかもしれない。岩倉が病院と地域の良い関係構築のための手がかりになってくれればと思います。



中村 治

大阪府立大学名誉教授
京都府立大学特任教授
左京・地域ゆかりの文化
実行委員会委員



宝ヶ池を散歩する患者

明治の元勳、岩倉具視（いわくら・ともみ）は、文政8年（1825）に堀河康親の次男として京都に生まれ、のちに天保9年（1838）に岩倉具慶の養子となります。

安政元年（1854）に侍従となり、幕末の動乱の中、次第に朝廷内で台頭していきました。岩倉は公武合体派の立場から、孝明天皇の妹・和宮と徳川第14代将軍の徳川家茂との婚姻を推進し、朝廷と徳川幕府との融和に尽力しました。

しかし、和宮と徳川家茂の婚姻を進めたことによって、過激な尊王攘夷派から佐幕派の人物と見られて命を狙われ、文久2年（1862）に辞官落飾して洛中を去って西加茂の靈源寺、ついで西芳寺に移り住み、後に岩倉村（現 京都市左京区岩倉）に幽棲しました。

元治元年（1864）の禁門の変後、岩倉の冤罪は証明されましたが、赦免はなく、引き続き岩倉村で暮らすことを余儀なくされます。しかし冤罪だったことで、再び人士が岩倉の周りに集うようになって政治活動を再開し、岩倉は時代の動向に対応して、これまでの公武合体派から倒幕派へと



岩倉具視と岩倉

り、岩倉使節団の海外巡遊の正使として重要な役割を果たしました。また明治14年（1881）には、東京に首都機能が移転したことで都市として衰退していた京都の復興にも尽力しました。

岩倉は明治16年（1883）、京都御所保存計画のために出身地の京都に来ている最中に咽頭癌が悪化し、東京へ戻ったものの回復せず、57歳（数え年で59歳）で亡くなりました。

立場を変更しました。

慶応3年（1867）、徳川第15代将軍の徳川慶喜が大政奉還をするものの、徳川家が国内最大の所領や兵力を持ったまま、引き続いて実質的に政治権力を握ることとなるので、岩倉は朝廷を政治の中心に据えるために、薩摩藩の大久保利通らと共に、徳川慶喜に辞官納地をさせる計画をすすめ、小御所において会議で王政復古を宣言して、徳川慶喜に辞官納地を通告し、徳川慶喜はこれに応諾したことによって王政復古が成立しました。

その後、岩倉は明治政府の首脳部の一人として、版籍奉還や廃藩置県などの重要法案の立案に携わり、

岩倉村での功績



岩倉公恩賜の手拭

約5年にわたる岩倉村での蟄居中、岩倉具視は、日夜刺客に狙われ、度々、村民の協力により難を免れたといわれています。そのお礼として、岩倉具視は、生前、岩倉村に当時の大金300円を寄付し、また、「時は宝なり」と染め抜いた手拭を村民全員に配りました。

寄付を受けた資金を基にして、村民が希望した農業用の溜め池である花園のはぶ池（明治9年）、金井谷池（権蔵池又は権土池）（明治10年）が造られました。今も、その溜め池が使われています。その他、村民から請願された就職のあっせん、精神障害者療養地としての紹介や里子の紹介など、その後の岩倉村の発展に貢献しました。



権蔵池（左京区岩倉村松町）

岩倉史謡・舞踊

岩倉公が幽棲中、毎年夏に近所の少女等を招き庭で盆踊りを催されたことに因み、昭和7年（1932）に開催された岩倉50年祭で岩倉史謡と舞踊を、愛宕郡岩倉村役場が作詞を西條八十氏、作曲を松平信博氏に、振付を井上八千代氏に依頼して新作し、当時岩倉村の村民が岩倉公の墓前及

び岡崎公会堂で披露奉納したのが始まりです。この歴史ある岩倉史謡・舞踊を守り、後世に伝えていくため、保存会が設立され、岩倉地域の皆さんによって受け継がれています。

歌詞は、岩倉具視公をはじめ、岩倉地域の歴史や名所などが10番まで謳われています。

岩倉具視幽棲旧宅

岩倉具視は、文久2年(1862)に攘夷運動の高まりの中で辞官落飾し、洛北の岩倉村に慶応3年(1867)までの間幽棲しました。元治元年(1864)に大工藤吉の居宅(現在の附属屋)を購入し、主屋と繋屋を増築して住居とした旧宅が保存・公開されています。



© 植彌加藤造園

開館時間: 午前9時~午後5時(入場は午後4時30分まで) ※事前予約制

会場: 岩倉具視幽棲旧宅(左京区岩倉上蔵町100) 京都バス「岩倉実相院」徒歩3分、叡山電車「岩倉駅」徒歩20分

休館日: 水曜日(祝日の場合は開館, 次の平日休館) / 年末年始(12月29日~1月3日)

入場料: 一般 400円 / 中学・高校生及び高等専門学校生 200円 / 小学生 100円 入場料の免除あり

■関連イベント

1) 史跡見学会「洛北岩倉の歴史を歩く」

日時: 令和3年12月4日(土)
午前10時~午後0時, 午後1時30分~午後3時30分
(同じ内容で午前と午後の
2回開催, 各回120分)

定員: 各10名

予定コース: 岩倉具視幽棲旧宅→山住神社→万里小路藤遺髪塔
→石座神社→阿加井→岩倉具視幽棲旧宅

参加費: 1400円

2) オンライン歴史講演会

日時: 令和3年12月11日(土)
午後1時30分~午後3時

定員: 30名

演題: 「岩倉具視と岩倉使節団」

講師: 重岡伸泰

(岩倉具視幽棲旧宅 主任学芸員)

参加費: 2000円

申込先, お問い合わせ: 岩倉具視幽棲旧宅管理事務所 TEL: 075-781-7984

岩倉・まち歩きツアー 参加者募集 **事前申込制**

もっと岩倉地域を知るためのまち歩きに参加してみませんか。

1 里子・患者預かりの地・岩倉を歩く

岩倉地域における風土の一つの特色ともいべき里子預かりと精神医療の歴史をたどります。

日時: 令和3年11月28日(日) 午後1時~

集合場所: 岩倉公園(左京区岩倉上蔵町120)

2 かわらけ作りの里・木野を歩く

岩倉西部地域で採れる良質の粘土を用いてかわらけが作られていた木野を巡ります。

日時: 令和3年12月12日(日) 午後1時~

集合場所: 叡山電車「木野駅」前(左京区岩倉木野町)

3 しめ縄・しめ飾り作りの里・長谷を歩く

しめ縄・しめ飾りが飾られた長谷の神社や旧家の正月風景を見てまわります。

日時: 令和4年1月8日(土) 午後1時~

集合場所: 岩倉証明書発行コーナー前(左京区岩倉中町403)

案内: 中村治氏

(大阪府立大学名誉教授,
京都府立大学特任教授) ほか

参加料
500円

【各回共通】

所要時間: 2時間

募集定員: 30名(応募多数の場合抽選, 当選者のみ通知)

申込み: 各回11月5日(金)から左記の締切日までに京都いつでもコールに電話, FAX又はメールで, 1イベント名, 2氏名, 3郵便番号, 4住所, 5電話番号, 6同伴者人数(1名まで)をお伝えのうえ, お申し込みください。(裏表紙参照)

申込締切: 1…11月14日(日)

2…11月28日(日)

3…12月19日(日)

写真展「あのころの岩倉」

岩倉地域の個人宅などで所蔵されていた古い写真約30点を展示する写真展を開催します。

期間: 令和3年11月15日(月)~令和4年2月13日(日)

場所: 左京区役所(左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地の2) 1階北側廊下

(地下鉄「松ヶ崎駅」から徒歩約8分, 左京区総合庁舎前バス停から徒歩約3分)

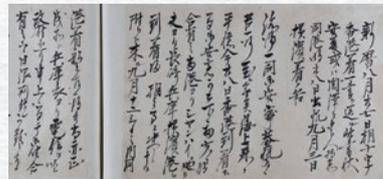


京都市歴史資料館

特別展 岩倉使節団150年記念「岩倉具視と米欧回覧」

入館
無料

会 期：令和3年12月10日(金)～令和4年2月13日(日)
 開館時間：午前9時～午後5時
 会 場：京都市歴史資料館(上京区寺町通荒神口下る松蔭町138番地の1)
 市バス「河原町丸太町」徒歩5分、
 地下鉄「丸太町駅」又は「京都市役所前駅」徒歩10分、
 京阪電車「神宮丸太町駅」徒歩10分
 休 館 日：月曜日、祝日、年末年始



2021年は、明治政府がアメリカ・ヨーロッパ諸国に派遣した使節団が日本を出発してから150年にあたります。岩倉具視はこの使節団の特命全權大使をつとめました。ペリー来航と開国から、幕末の政争を経て、明治国家の出発に至る激動の時代において、岩倉はどのような対外関係のあり方を描いていたのでしょうか。また米欧回覧で得た経験を、岩倉はその後の日本にどう生かそうとしたのでしょうか。重要文化財「岩倉具視関係資料」などの史料から紹介します。

■関連イベント 歴史講座「岩倉具視についての米欧回覧」

日 時：令和3年12月16日(木) 定 員：80人(多数抽選)
 開催時間：午後2時～午後3時30分 場 所：同志社 新島会館 詳しくは、京都市歴史資料館へ。
 申込期間：11月5日(金)～11月25日(木)

お問い合わせ：
 京都市歴史資料館
 TEL 075-241-4312

岩倉史謡・舞踊披露と井上八千代氏講演会 観覧者募集 事前申込制

参加
無料

昭和7年「岩倉公50年祭」で舞踊奉納された岩倉史謡舞踊。

今もその踊りは、岩倉地域の人々によって受け継がれています。当時、井上八千代氏が踊りの振付をされたご縁で、この度、五世井上八千代氏をお迎えし、岩倉史謡・舞踊保存会による踊りの披露と井上八千代氏による講演会を行います。



日 時：令和3年12月19日(日) 午後1時30分～午後3時
 場 所：京都市立明德小学校体育館(左京区岩倉忠在地町221) 叡山電車「岩倉駅」徒歩6分
 内 容：岩倉史謡・舞踊の披露と京舞井上流家元・井上八千代氏による講演会
 定 員：80名(応募多数の場合抽選、当選者のみ通知)
 申込み：11月5日(金)から12月3日(金)までに京都いつでもコールに電話、FAX又はメールで、1イベント名、2氏名、3郵便番号、4住所、5電話番号、6同伴者人数(1名まで)をお伝えのうえ、お申し込みください。

京都いつでもコール

おかけ間違いにご注意下さい
 TEL：075-661-3755
 FAX：075-661-5855
 (午前8時～午後9時 年中無休)
 電子メール：京都市ホームページの送信フォームを御利用ください。



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3密回避の徹底などを図り実施します。
 来場者の皆様にはマスク着用にご協力をお願いします。

お問い合わせ

左京・地域ゆかりの文化実行委員会
 事務局：京都市左京区役所
 地域力推進室企画担当
 TEL 075-702-1021

スタンプラリー

京都市歴史資料館と岩倉具視幽棲旧宅の両施設に入館し、右欄にスタンプを集めると、岩倉公ゆかりの手拭(京都精華大学生によるオリジナルデザイン)を抽選で80名様にプレゼントします。
 *スタンプ設置・受付期間は、令和3年12月10日(金)から令和4年2月13日(日)までです。
 *岩倉具視幽棲旧宅へは入館料が必要です。
 *スタンプラリー達成者は、下記にお名前、住所をご記入のうえ、いずれかの施設の窓口へ提出してください。

お名前

ご住所 〒

記載していただいた個人情報は、プレゼントの郵送以外には使用しません。



京都市歴史資料館

スタンプ

岩倉具視幽棲旧宅

スタンプ